

高田
本山
たより

十一月三日・四日
納骨堂法会



107

堯秀上人・堯円上人



高田派第十四世堯秀上人の三百五十年忌と第十六世堯円上人の三百周年忌法会が九月十日から十二日に執り行われました。豊臣から徳川へと変わる激動の時代に生きられたお二方です。

を継承されます。のちに、堯朝上人に住持職をお譲になられますが、天逝されたため、ふたたび住持職につかれます。

ご誕生の二年前の天正八年（一五八〇年）に焼失した御堂の再建をすすめるも正保二年（一六四五年）に寺内町一帯を焼失する大火にも



あう波瀾万丈なご生涯でした。

そのような中、多くの著述をすすめられ、高田御書の編纂により今私たちが目にする御書の原型となりました。今に報恩講御書として親しまれる御書には、

ひそかにおもんみれば、人身うけがたく仏法あいがたし。しかるにいま受けがたき人身を受け、あいがたき仏法にあいながら、何事をなすこともなく、いたずらにあかし

くらすこと、まことにあさましきことに候なり。

とはじめられ、仏法にあうことは、聖人化導のたまものと讃嘆されています。

さて、堯円上人は寛永十八年（一六四一年）花山院定好の第四子として誕生されます。堯朝上人早逝のため慶安元年（一六四八年）八歳のときに入室され高田の法流を継承されました。

現在、私たちが目にする御影堂も上人の代に竣工し寛文十年（一六七〇年）に慶讃法要がおこなわれています。また、野州（栃木県）の専修寺本堂の再建もされるなど、業績は多岐にわたっています。

寛文十二年（一六七二

年）には、はじめて安居がおこなわれ朝の常在説教や夏の仏教文化講座の原型となりました。

千部法会も上人在世の時、延宝八年（一六八〇年）に講千部会としてはじめられ、新しい御影堂に人々があふれたそうです。

今に繋がるおふたりのご歴代のご縁を、この機会に、私たちもまた次世代につないでゆきたいものです。



親鸞聖人ご旧跡を訪ねて



抱衣塚

第一回 日野の里

親鸞聖人は、京都市伏見区日野にある法界寺を菩提寺とする日野家の嫡男として承安三年（一一七三）に生まれま

した。現在、法界寺は真言宗のお寺ですが、最澄作の薬師如来を安置したこと

が起源ともいわれている歴史のあるお寺です。

また、法界寺に隣接して日野誕生院が本願寺飛び地境内として整備されています。親鸞聖人がつかった産湯井戸や抱衣塚が残されています。

現地へは、JRまたは京阪六地蔵駅から京阪バスで日野薬師または日野誕生院下車でお訪ねいただくのが便利です。

（山川蓮生）

定番のような気もしますが、親鸞聖人の歩まれた道を改めて辿ってみようと思集子が実際にご旧跡を訪ねてみました。高田派ゆかりの場所ばかりではありませんが、是非、みなさまも機会をみつめて訪ね歩いてはいかがでしょうか。

個人旅行だけではなく、本山で企画する各種研修会においても、各地のご旧跡を訪ねる企画が行われることがありますので、機会があればご参加ください。



法界寺山門



日野の里入り口



汗を流して清掃奉仕

ご奉仕ありがとうございました。

（敬称略）

六月 誓休寺・三重長寿津連絡会・寶祥寺・心海寺・見潮寺・西元寺・常善寺・宗休寺
七月 西元寺・称名寺・願行寺・法林寺・善昌寺
八月 なし

阿弥陀様のもとで汗を流しませんか。ひとりひとりの力が合わさって本山も護持されています。お寺さまだけでなく一般の団体の方もご奉仕に来山いただいております。お申し込み、お問い合わせは宗務院庶務部までお気軽にどうぞ。

WEB VERSION

檀信徒研修会報告



六月二十八日、第六十二回檀信徒研修会が開催され、圓猷上人、圓超上人について安藤章仁先生を講師にお迎えして研鑽を深めました。また、お説教が起源ともいわれる落語を最後に聴き、大らかな笑いの中に研修会を終了いたしました。

圓猷上人 圓超上人のご遺徳を仰ぐ

安藤章仁

高田本山の歴史の中で最も心に留めておかなければならないことの一つに圓猷上人・圓超上人父子のご遺徳があります。

第十七世圓猷上人は、はじめての皇族出身のご

法主で、四十三年の在任期間中三十年以上を如来堂建立に尽力されました。如来堂建立の意志を最初に公表されたのは二十六歳、落慶入佛式を迎えたのは五十五歳の寛延元年（一七四八）で

す。けれども寛延四年（一七五一）の「覚書」には、天井や縁高欄が未完成であることが記されているので、如来堂は実に三十年以上の造営を経て建物や荘厳が整えられていったことがわかります。驚くべきことは、その長い総工期間中に教団の組織化、はじめての光三尊佛の開帳、法宝物の護持顕彰、教学の隆盛、茶道「宗旦古流」の普及など近世高田教団の姿が形成されていることです。大変な中でハード面とソフト面が結実していくわけです。

延享三年（一七四六）に圓猷上人から譲状を受けた圓超上人は、婚儀、長女誕生と慶事が続く中、二十二歳の若さで

急逝されました。死別の悲しみに深淺はありませんが、堯秀上人が御書で嘆じられるように逆縁の悲しみに涙する当時の方々の心境は察して余りあります。圓超上人は、寛延二年（一七四九）二十歳の時に御書を準備執筆されていました。その内容は、形式的な教条ではなく、理論と実践について四つのテーマを具体的に氣力溢れる文章で綴られています。この御書は、圓超上人のご往生後に圓猷上人が「書函」の中から見つけれ、圓猷上人の御書を添えて圓超上人の二七日に当たる日に『安心章』と題して開版されました。

圓猷上人は『安心章』の中で七つの悲しみを

WEB VERSION

WEB VERSION

吐露とろされています。生まれた時には、父親が亡くなっていたこと、長男おさみ孟宮もうきやうは九歳で早世そうせい、病縁、火災等々の人生苦です。そして親鸞聖人の教えに基づき「無量ノ悲嘆」を転じて行く道を教示されます。悲しみや苦悩がなくなるのではなく、実存苦があればこそ、それを転ずる世界がお念仏によって開かれることをご自身の「悲喜ノ懷かい」を通して語られます。

『安心章』を拝読しますと「即得往生そくとくおうじやう」「平生へいぜい往生おうじやう」「歓喜かんぎ」という言葉に両上人の感応道交を見ることが出来ます。そこには、圓超上人の御書を受け、圓猷上人がご自身の法味を述べられていることがよくわかりま

す。『安心章』の要は、浄土真宗の救いです。親鸞聖人が未来形で用いる歓喜と現在形で語る慶喜きやうきの語を用い、死に行く不安、生きて行く不安といった生死しやうじの苦海を転じ、不安や苦しみのただ中で自分の人生をよるこぶことのできる救いの道を説いています。

両上人のご遺徳を仰ぎ、あらためて思いを致すのは、如来堂存立の意義です。圓猷上人、若き圓超上人、当時の高田門徒が三十年以上かけて築き上げた如来堂の威容には、より多くの人々が「お念仏」「信心てんしん」の教えに出遇い、「転成てんじやうの人生」と「よろこびの人生」を歩まれることが願われています。

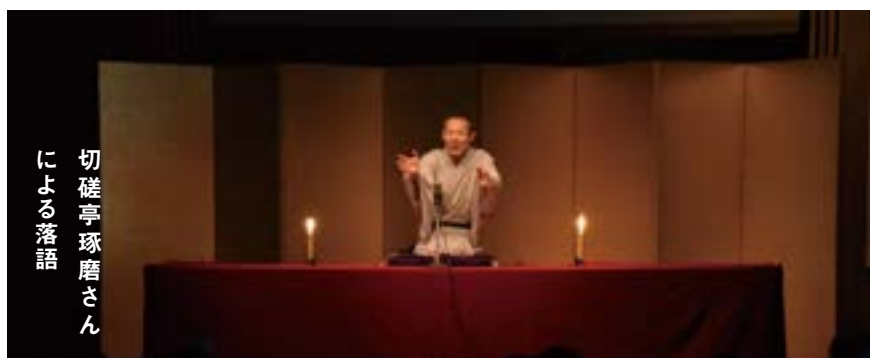


八月十日～五日 仏教文化講座

他にも、こんな研修の場がありました



八月五日～三六日 仏教基礎講座



切礎亭琢磨さん
による落語

次回の檀信徒研修会は

第六十三回檀信徒研修会

テーマ 第十八世円遵上人えんじゆん

日時 十月二十四日

午前九時より受付

午後三時終了予定

会場 御影堂

高田会館ホール

会費 千円(昼食込)

参加希望の方は十月十七日までに宗務院教学部栗廻くりのまでお申し込みください。

TEL〇五九・二三二・四一七一

WEB VERSION

WEB VERSION

「出家」

釈尊シリーズ④

天地をあげての祝福を受けながら誕生した釈尊ですが、その七日後に母親マヤー夫人が亡くなります。国王である父親は太子を哀れみ、幼子にさみしい思いはさせまいと、ありとあらゆる手を尽くしました。例えば太子には夏、冬、雨季と季節に合わせて三つの宮殿が建てられ、雨季の間は外を歩くこともなく、宮殿の中で音楽を奏でる女性たちに囲まれて過ごしたということです。信じられないほど優雅で快適な生活だったのです。

そんなある日のこと、太子の一行が城から出かける、それまで見たこともないほどに醜く衰

えた人が佇んでいました。太子は驚き、お付の者に問うと、それが人間の年老いた姿であり、誰もがあのように老いてゆくと言うのです。太子は自分もいずれは年老いてゆくことを知り、恐ろしくなつて城に逃げ帰ってしまいます。同様に病気で苦しむ者、ある時は死者の姿を目にし、太子は増々暗い気持ちになつてゆきました。

「いずれは老い、病んで、遂には死んでゆくしかない私の一生に、一体どのような意味があるのだろうか。」太子は憂鬱に物思いにふけるばかりです。

ところがそんなある

日、太子は道を静かに歩く修行者を目にします。そしてその気高く堂々とした姿に心打たれました。これを四門出遊と申します。

「老いも病も死をも恐れぬ道をなんとしてでも見つけたい」

この太子の心に灯った求道の志は、日増しに大きくなり、遂にある晩、太子は可愛い妻も子も残し、富も名誉も何もかも一切を捨て去つて、白馬にまたがり城を出てゆきます。大きな河を越えると、身に着けていた立派な服も、豪華な飾りも脱ぎ捨てて、自ら剃髪して一人森へと入って行きました。こうして二十九歳の太

子は出家して修行者としての歩みを始められるのです。

もし、太子が太子のままであったなら、その後の釈尊は誕生しなかったことでしょう。出家以前の太子の生活とは、言わば人間の願いの全て叶った状態と言えるでしょうが、それらをすべて捨て去られたということは、人間というものは、たとえ自分の願いが叶ったとしても、本当に満足することはできないということを示しているのです。

教学院第三部会



WEB VERSION

WEB VERSION

リレー法話

いのち

～いきものがたり～

誓覚寺住職・四日市市人権擁護委員

栗廻 隆興

二〇〇六年にタヒチ島在住だった作家坂東眞砂子さん（故人）が、新聞のコラムに、「飼っている三匹の雌猫が産み、増えすぎた子猫を崖から落とし、殺している」（中略）「もし猫が言葉を話せるならば、避妊手術なんかされたくない、子を産みたいというだろう」と書いて波紋が広がりました。

愛猫家の中には、「避妊手術をすることは飼い主の義務である」と厳しい批判をする人も多くいました。

坂東さんのコラムが事実ならば、自らの手で子猫の命を奪うことができる神経を疑いたくなります。しかし、人の都合でペットに避妊手術をすることは、はたして命を大切にしている行為なのでしょうか。

「生物」の定義は「生きて活動し、繁殖するもの」だと私は思います。人間の都合で、次世代に命をつなげることができない体にされた犬や猫は、本当の意味での「生物」といえないのではないのでしょうか。

現在の住宅事情や家族構成などを考えると、昔のようにペットが自由に子を産んでいたなら飼いきれなくなるでしょう。飼いきれなくなったペットは捨てられます。捨てられた犬や猫の多くは保健所に收容されて、引き取る人がいなければ殺処分、運命を辿ることになります。平成二十六年には十萬匹を超える犬と猫が殺処分されました。

近年、犬や猫の「殺処分ゼロ」が話題になっています。しかしその裏で、命のリレーから阻害される悲しみを感じずにはいられません。



特別養護 老人ホーム 鈴鹿香寿苑

鈴鹿市稲生西 3 丁目 7419 番地（鈴鹿サーキット稲生駅から徒歩 5 分）

平成 29 年 4 月開設
特別養護老人ホーム 『鈴鹿香寿苑』
オープニング職員大募集!!

説明会・見学会(随時)
お電話でお申込みください

- ◎ 大学・短大・専門学校・高校を卒業予定の方
 - ◎ 介護・福祉の経験のある方、資格のある方、奮って、ご応募ください。
- 社会福祉士・介護福祉士・ケアマネージャー、看護師、理学療法士等。

社会福祉法人
けやき福祉会

☎ 059-373-2223

まずはお気軽にお電話ください。
(担当：井上・葛西)



納骨堂法会 仏間での様子

納骨堂法会のご案内

平成28年11月3日・4日

午前 9:00	納骨堂開堂 受付開始
10:30	行列 納骨堂・勤行 御影堂・勤行 お説教
11:00	
午後 3:00	受付終了 如来堂・御影堂
3:30	閉扉
4:00	納骨堂閉堂

納骨堂法会にご参拝ください

表紙の写真は納骨堂の阿弥陀様です。納骨堂法会と一緒に参拝いたします。

行列中境内の一部で通行止を行います、ご理解下さい

納骨堂法会は毎年十一月三日と四日に執り行っており昭和三十八年に納骨堂を建立してから始めております。

納骨堂への納骨を本山納骨と言います。い、宗祖親鸞聖人への「お届け参り」とも申しますことは、聖人御廟のおそばに、亡き方の分骨を届け、浄土往生の奉告とともに、私たちも、そのお念仏の道を歩むべく、ここを新たに、本山とのお縁をより深く結ぶ尊いご縁でございます。

その遇いがたきご縁で本山納骨されたご遺骨をお納めする納骨堂で厳肅にお勤めを行い、つづいて御影堂で法要を勤修いたします。ひきつづき説教（法話）がございます。ぜひお参りいただき、ご聴聞下さいませよう、お待ちしております。

お七夜献書展 作品募集

幼稚園

小学一年生

小学二年生

小学三年生

小学四年生

小学五年生

小学六年生

中学一年生

中学二年生

中学三年生

高校・一般

いし

えん

じつぼう

十方

白道

七高僧

浄土真宗

流転輪廻

西方指南抄

柳葉菩提樹

不斷煩惱得涅槃

仮令身止

我行精進

2

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

骨を砕きても謝すべし

提出期限は

平成二十八年十一月三十日。募集要項は後日、各寺院にお知らせいたします。ふるってご参加ください。

寺院名

●行事案内

十月一日～三日

資堂講法会

十月十一日・十二日

坊守・婦人会合同研修会

十月二十五日

檀信徒研修会

十一月三日～四日

納骨堂法会

十一月五日～十日

秋法会

十二月八日～十日

中興上人御正當

十二月三十一日

除夜の鐘

三重県津市一身田町
2819
真宗高田派本山専修寺

高田本山
Senjuji



北海道別院にて